

講義 I

# 文のねじれと解消法

アカデミック・ライティング A

第8回

# この講義で学ぶこと

## • 文のねじれの解消法

- 話しているときにはさほど気にならない**主語の脱落**や**述語との不一致**も、文章にすると非常に気になって読みにくくなる。
- 読みやすい文章、文法的な文章を書けるように、**注意すべきポイント**を学ぶ。

## 文のねじれとは

- 文中の単語同士が文法的に対応していない (=かみあっていない) こと。
- 典型的には文の先頭にある単語と文末にくる単語が対応していない状態。
  - 主語と述語がかみあっていないことが多い。

# 演習「文のねじれ」

- ここからは、演習問題「文のねじれ」の問題を一緒に解きながら、文のねじれの修正方法を学んでいく。
- まずは、自力で文のねじれに気づいて適切に修正できるか試してみよう。

読解・作文 A(第7回) 演習問題「文のねじれ」

名前: \_\_\_\_\_ 学籍番号: \_\_\_\_\_

以下に示すそれぞれの文は、文法的に問題がある。これは文中の語と語の関係がちゃんと対応していない(=かみあっていない)ことに原因がある。各文の下の指示にしたがい、修正しなさい。

(1) 日本の企業がSDGsに取り組む理由は、国連サミットで採択された国際目標として重視されている。

指示: 下線部がこの文の主語と述語が、対応していない。主語を変えずに文末(述語)を修正せよ。

\_\_\_\_\_

(2) 風力発電の利点は、発電時に二酸化炭素などの環境に悪い影響を及ぼすものを発生させず、風のもつエネルギーを利用してクリーンに発電できる。

指示: (1)と同じく、下線部の主語と述語が対応していない。全構をこの文に分けて修正せよ。その際、語彙を揃えること。

\_\_\_\_\_

(3) 鑑定医によると、被告の刑事責任能力に問題はないと証言している。

指示: 述語に対応する主語が適切ではなく、対応していない。述語に対応するように文頭を修正せよ。

\_\_\_\_\_

(4) 広島県庁という地名の由来は、明治時代に広島県人がこの地を開墾したことからついた。

指示: 何が対応していないのか考えたら、主語を変えよ修正例を示せ。

-本語を修正:-

\_\_\_\_\_

(5) 旭山動物園は、同園の厳しい経営状況を奇抜なエピソードの強力で切り抜け、日本一にした。

指示: 誰が何まどのようにしたのかかわかるように「園長は」と「月間の来場者数も」を補って修正せよ。

\_\_\_\_\_

# 演習「文のねじれ」(1)

(1) 下線部がこの文の主語と述語だが、対応していない。主語を変えずに文末(述語)を修正せよ。

日本の企業がSDGsに取り組む理由は、国連サミットで採択された国際目標として重視されている。

主語と対応するように  
述語を変えてみよう。

×: 取り組む理由は、...重視されている。

主語

述語

# ねじれている箇所

日本の企業がSDGsに取り組む理由は、国連サミットで採択された国際目標として重視されている。

- 「～の理由は・・・」を**シンプル**な文に置き換える。
  - 文のねじれの違和感に気づきやすくなる。
- 学校に通う理由は、勉強する。
- 教養を学ぶ理由は、社会で重視されている。



# 文のねじれの解消方法1

- 対応する単語同士がかみあうように、主語（文頭）や述語（文末）に着目して修正する。

## (1) 模範解答: **文末の修正例**

日本の企業がSDGsに取り組む理由は、国連サミットで採択された国際目標として重視されているからだ／ためだ／ことにある。

メモ例: ポイントとなる部分（青字）以外は「～」で省略  
～の理由は、～からだ／ためだ／ことにある。

# 文のねじれの解消方法I

## (1)の別解: **文頭の修正例**

日本の企業がSDGsに取り組む理由は、国連サミットで採択された国際目標として重視されている。

述語に合わせて**文頭を修正**

SDGsは、国連サミットで採択された国際目標として重視されている。そのため、日本の企業も取り組んでいる。

修正の際に余った要素は、別の文として加えることも可能

## ねじれが生じる原因1

- 文のねじれは、文が長いと生じやすい。
- 長い文は、複数の短い文に分けよう。
  - 読み手にも読みやすく、文もねじれにくくなる。



# 演習「文のねじれ」(2)

(2) 下線部の主語と述語は対応していない。全体を2つの文に分けて修正せよ。その際、適当な語句を補うこと。

風力発電の利点は、発電時に二酸化炭素などの環境に悪い影響を与えるものを発生させず、風のもつエネルギーを利用してクリーンに発電できる。

- まずは長いので、2つの文に分けて修正する。

## 文のねじれの解消方法2

- 長い文を分けて解消する。

かみあっていない箇所

×: 風力発電の利点は...クリーンに発電できる。

(2) 模範解答:

風力発電の利点は、発電時に二酸化炭素などの環境に悪い影響を与えるものを発生させない点／ところ／ことだ。風力発電は風のもつエネルギーを利用してクリーンに発電できる。

# 文が長いとねじれやすい



- 東京農業大学・生物産業学部（網走オホーツクキャンパス）とは、2014年パイ最中「モナカナノカ」や翌15年とうきびケーキ「あまるうふ」の販売など、学生が考え商品開発する実学主義の講義への支援から壺屋との関係性、そして、今年東京農業大学125周年を機に誕生した、同大学名物「大根踊り」に因む大根風味のクッキーです。



## 発売の経緯

東京農業大学・生物産業学部(網走オホーツクキャンパス)とは、2014年パイ最中「モナカナノカ」や翌15年とうきびケーキ「あまるうふ」の販売など、学生が考え商品開発する実学主義の講義への支援から壺屋との関係性、そして、今年東京農業大学125周年を機に誕生した、同大学名物「大根踊り」に因む大根風味のクッキーです。

黒龍秀久(くろりゅうひでお)オホーツク学部部長・水島俊夫(みずしまとしお)名誉教授を中心とした指導・監修のもと、当社工場長玉井三幸(たまいみつゆき)が開発。大根の素材感が生きた味と食感に仕上がりました。

- 東京農大=クッキー(?)
- 文が長いとねじれやすい。

壺屋オンラインショップ

[https://www.tsuboya.net/products/list.php?category\\_id=179](https://www.tsuboya.net/products/list.php?category_id=179) (2022年6月13日閲覧)

# 演習「文のねじれ」(3)

(3) 述語に対応する主語が適切ではなく、対応していない。

述語に対応するように文頭を修正せよ。

- 他人発の情報を引用・要約して示す際に、文がねじれやすい。

×: 鑑定医によると、被告の刑事責任能力に問題はないと証言している。



証言しているのは誰か？

# 「〇〇によると」は主語ではない

- 〇〇によると、というのは主語ではなく情報源。

◎：報道によると、市長が公共施設の閉鎖を発表したという。



◎：政府によると、国内の感染者数は減少しているという。



# ねじれやすいケース

- 鑑定医が証言したのならば...

模範解答(3):

鑑定医は、被告の刑事責任能力に問題はないと証言している。

⇒×: ~によると...と述べている。

⇒◎: ~は...と述べている。

## 情報源に対応した文末

- 情報源を示す際は…

～によると…という。

鑑定医は、被告の刑事責任能力に問題はないと証言している。

## 他人発の情報を含むねじれ

- (3)のように他人発の情報を挟む形式では、次のような表現を使い、文を2つに分ける方法も効果的だ。
- Aは次のように〇〇している。……。

鑑定医は、次のように述べている。被告の刑事責任能力に問題はなく、……。

引用や要約が長いほど、この形式がおすすめ。

## ねじれが生じる原因2

- 使い慣れない単語・表現の誤用。単語同士の対応関係を示す助詞の使い方に注意。

- 状況に鑑みる
- 状況を鑑みる
- 状況~~×~~鑑みる
- 状況~~が~~鑑みる
- 状況~~で~~鑑みる

「鑑みる」 → …に照らして考える。  
…を考える。

◎：状況に鑑みる

◎：状況を鑑みる

# 演習「文のねじれ」(4)

(4) どこが対応していないのか考えたうえで、主語を変える修正例を示せ。

北広島市という地名の由来は、明治時代に広島県人がこの地を開墾したことからついた。

# 使い慣れない言葉の主述

- 北広島市という地名の由来は、明治時代に広島県人がこの地を開墾したことからついた。

かみあっていない箇所

×：由来は、……からついた。 → 由来はつく？

# 文頭（主語）を修正する

(4)の模範解答:

北広島市という地名は、明治時代に広島県人が  
この地を開墾したことからついた。

◎:地名は...からついた。

「由来」は、本来どのように使う言葉なのか。

## 原因2の解消方法

- 単語の用例（使い方）を調べる。
  - 国語辞典やインターネットを使い調べてみる。

「由来」(名詞)スル。物事がいつ、何から起こり、どのようにして現在まで伝えられてきたかということ。またその起源・歴史。いわれ。来歴。「家宝の――を語る」「遠くギリシャに――する建築様式」

松村明ほか編(1999)『スーパー大辞林』三省堂。

# 文頭と文末の両方を直す

(4)の別解1:

北広島市という地名は、明治時代に広島県人がこの地を開墾したことに由来する。

◎: 名前は、.... に由来する。

# 文末（述語）を修正する

(4)の別解2:

北広島市という地名の由来は、明治時代に広島県人がこの地を開墾したことにある。

◎:由来は...にある。

用例を調べることで、修正の選択肢が広がる。

# 使い慣れない言葉のねじれの例



## 創成川公園の概要

公園内には創成川の歴史を偲ば  
れる記念碑等と芸術作品が随所  
に設置されています。



公園内には創成川の歴史が偲ば  
れる記念碑等と芸術作品が随所  
に設置されています。

# 演習「文のねじれ」(5)

- 対応するはずの単語がそもそも文中にないのでねじれている場合もある。

(5) 誰が何をどのようにしたのかがわかるように、「園長は」と「月間来場者数を」を補ったうえで修正せよ。

旭山動物園は、同園の厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜け、日本一にした。

# 主語も目的語もない

旭山動物園は、同園の厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員との協力で切り抜け、日本一にした。

×:旭山動物園は...日本一にした。

— どこの誰が 何を 日本一にしたのか?

# 省略されている単語を補う

- かみあう単語がない場合は、補って入れる。

旭山動物園の園長は、同園の厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜け、月間来場者数を日本一にした。

- 誰が 何を どのようにしたのかが明確になった。

# 省略しすぎると伝わらない



を が イノシシを  
散歩中の男性背後からイノシシ襲う...警官らを取り押さ  
え直後に死ぬ  
2022/07/16 19:00 イノシシが

この記事をスクラップする

15日午前6時20分頃、高松市春日町の春日川で、土手を歩いていた70歳代の男性がイノシシに襲われた。通りかかった人が、頭や腹、手足から血を流し、擦り傷を負った男性を見つけて119番。男性は病院に搬送されたが、命に別条はないという。



同市によると、男性は散歩中に背後からイノシシに襲われ、斜面を転がり落ちたという。イノシシは駆けつけた警察官らに取り押さえられた直後、死んだ。

- 主語や目的語、助詞を省略すると、文の意味が正確に伝わらなくなる。
- 見出しも本文も、**伝わらないと意味がない。**

## 文のねじれの発見方法

- **主語と述語を近づけると**、文のねじれを発見しやすい。

– SDGsに取り組む理由は、重視されている。

からだ/ためだ

– 風力発電の利点は、クリーンに発電できる。

点だ/ところだ/ことだ

– 地名の由来は、~からついた。

– 旭山動物園は、日本一にした。

の誰が 何を

# 語順の工夫

- 主語と述語を近づけることで、「誰が何をする」のかがわかりやすくなる(わかりやす文になる)。

主語が離れている

旭山動物園の園長は、同園の厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜け、月間来場者数を日本一にした。

厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜け、旭山動物園の園長は、同園の月間来場者数を日本一にした。

主語を近づけると  
わかりやすくなる

# 文を短くするのも有効

旭山動物園の園長は、同園の厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜け、月間来場者数を日本一にした。

- 同じ言葉が1文の中で重複

→ 長い1文で、生じやすい文のねじれ。

旭山動物園の園長は、厳しい経営状況を奇抜な工夫と役員の協力で切り抜けた。そして、同園は月間来場者数が日本一になった。

# まとめ

- 文のねじれ

- 1つの文の中で言葉がかみあっていない状態。

- 主語と述語がかみあっていない場合が多い。
    - 主語と述語を抜き出して近づけてみると、違和感(ねじれ)に気づきやすい。

- 解消のポイント

- 対応関係を考え、文頭・文末を修正する。

- 長い1文にならないよう、短い文に分けて書く。
    - 使い慣れない語句は、用例や意味を調べて使う。

# 本日のMoodle課題（1つ）

- 講義1のチェックテストに解答
  - 解答期限はこの講義時間終了後から次回講義日まで。

